

長274海Ⅱ95長手Ⅱ5参考資料7より「日本海中南部の海域活断層の長期評価（第一版）—近畿地域・北陸地域北方沖—」に関する部分を抜粋。

長274海Ⅱ95長手Ⅱ5参考資料7

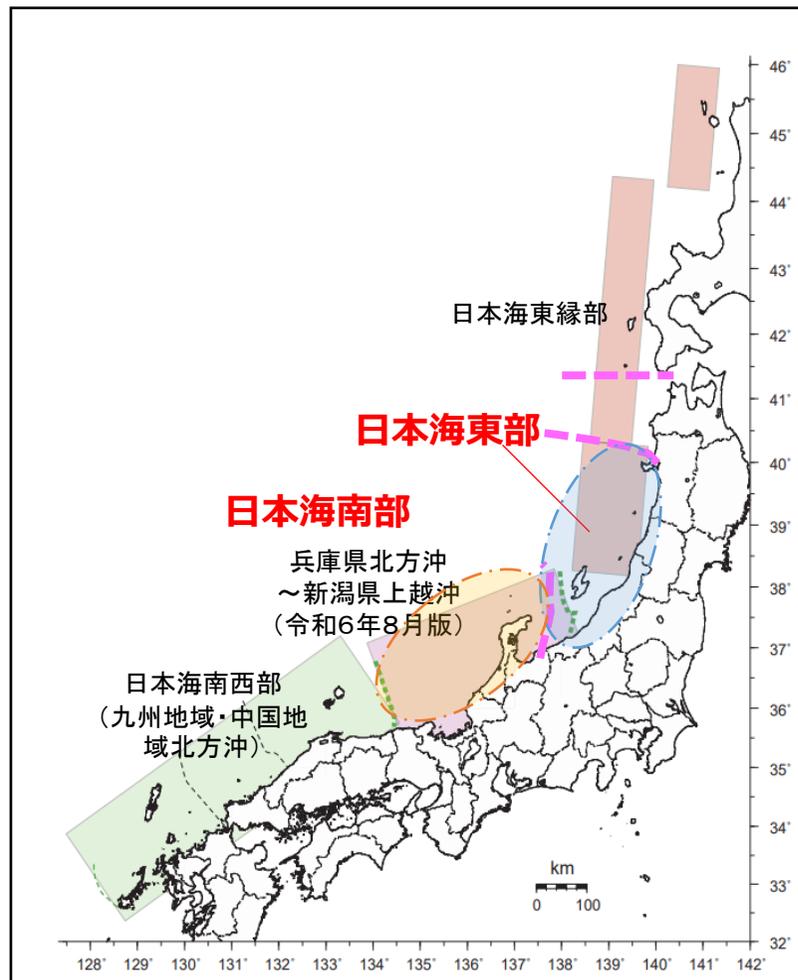
# 海域活断層の長期評価に関する資料

令和6年12月16日（月）

第274回長期評価部会・第95回海溝型分科会（第二期）・第5回長期確率評価手法検討分科会（第二期）合同会

# 本日の審議

- 海域活断層評価手法等検討分科会で審議した今後の評価方針について報告
- 「日本海側の海域活断層の長期評価—兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖—（令和6年8月版）」で評価した領域の内、東端を一部除いた※1領域を「日本海南部」として確率評価を進める
- 新潟県上越沖～秋田県男鹿半島沖※2を含む領域を「日本海東部」として評価を進める



- ※1上越沖断層帯、名立沖断層、上越海丘東縁断層は日本海東部に含めて確率評価を行なう。
- ※2「日本海東部」の北限については今後の審議次第であるが、渡島大島付近という選択肢もありうる

----- 日本海東部海域界案

# 日本海南部の海域活断層の長期評価 に関する資料

令和6年9月17日（火）

第29回海域活断層評価手法等検討分科会

# 1. 日本海南部の海域活断層の長期評価の審議の進め方について

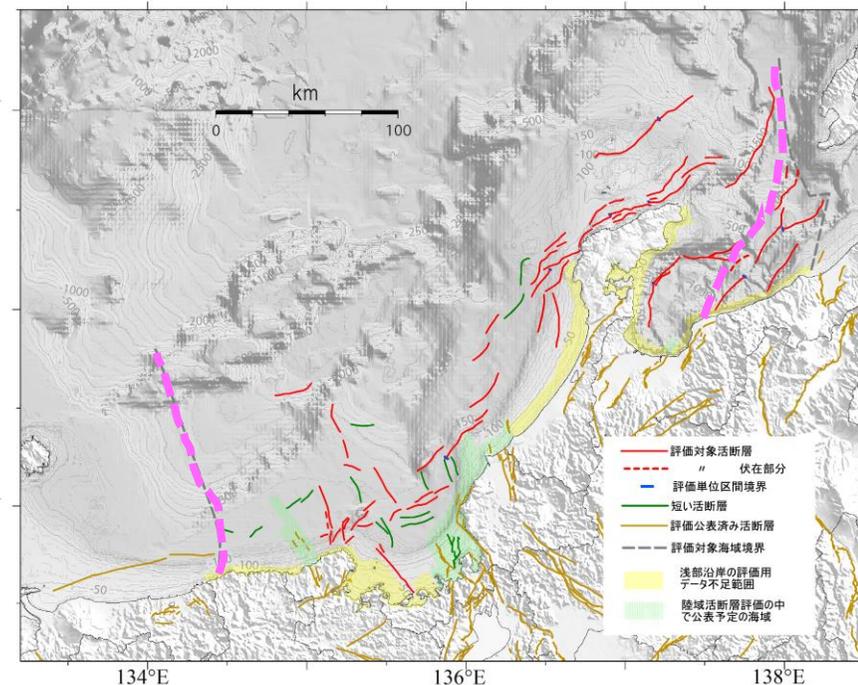
- 令和6年8月2日に日本海側の海域活断層の長期評価—兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖—（令和6年8月版）として、同海域の活断層（帯）の位置・長さ・形状、そこで発生する地震の規模等を公表した。
- 今後は確率及び評価文の審議を行いたい。確率及び評価文を作成する海域は、構造的特性を考慮し、東端については能登半島周辺から富山県沖までとし、また、名称は日本海南部として審議を行いたい。

## 日本海南部の海域活断層の長期評価に係る審議

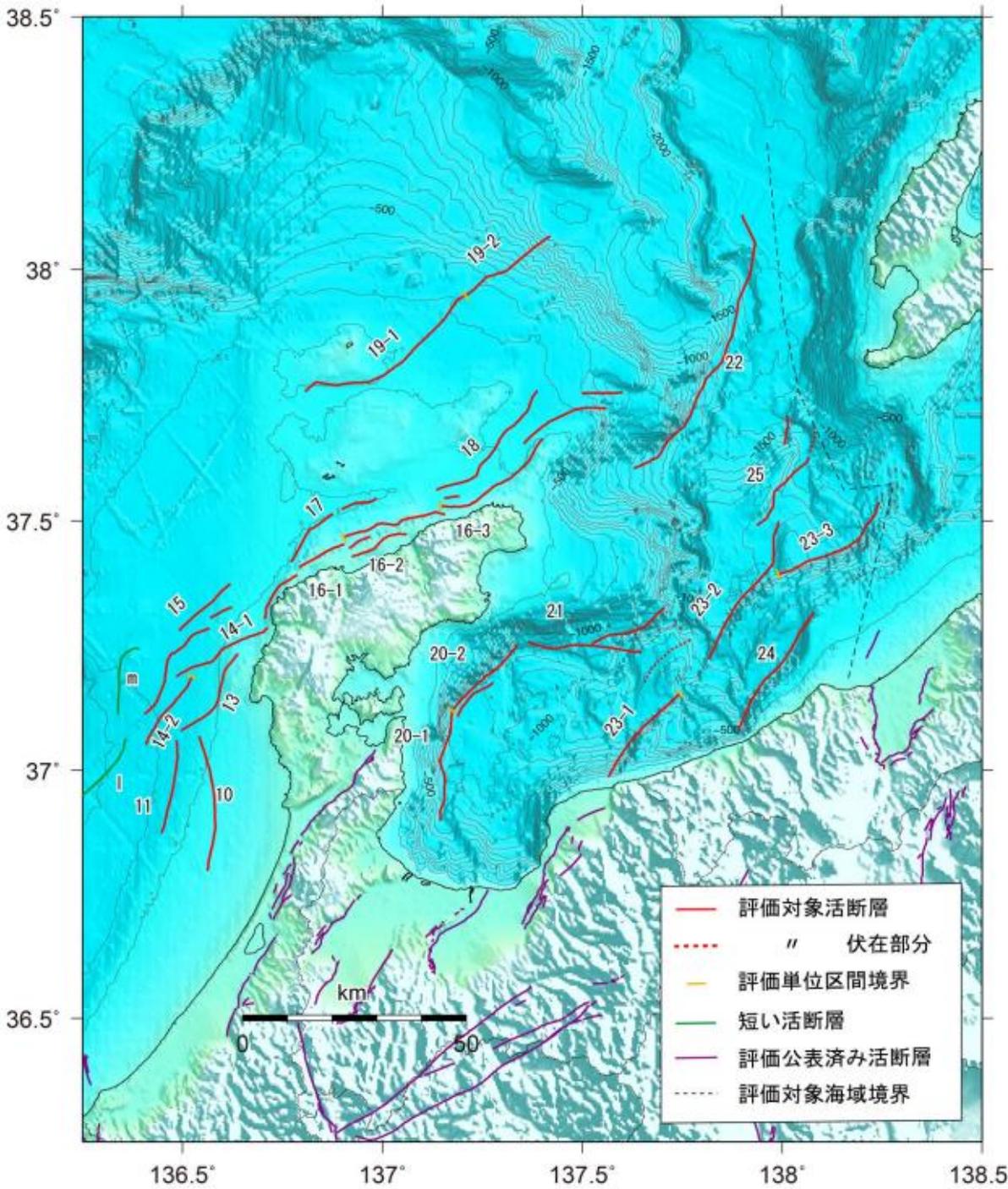
- 確率評価に向けて
  - 変位量、補正及び垂直変位量
  - 平均変位速度
- 確率計算パラメータ等の確認
  - 横ずれ、縦ずれ比
  - BPT（門前断層帯、能登半島北岸断層帯）
- 確率評価に向けて
  - 確率計算結果の審議
  - 日本海南部内の区域分け
- 評価文について
  - 評価文案の作成

本日の分科会で審議予定

次回以降の分科会で審議予定



— — — 日本海南部海域界案



- 16-1: 能登半島北岸断層帯 (猿山沖区間)
- 16-2: 能登半島北岸断層帯 (輪島沖区間)
- 16-3: 能登半島北岸断層帯 (珠洲沖区間)
- 17: 輪島はるか沖断層
- 18: 能登半島北方沖断層
- 19-1: 舩倉島近海断層帯 (南西区間)
- 19-2: 舩倉島近海断層帯 (北東区間)
- 20-1: 七尾湾東方断層帯 (大泊鼻沖区間)
- 20-2: 七尾湾東方断層帯 (城ヶ崎沖区間)
- 21: 飯田海脚南縁断層
- 22: 富山トラフ西縁断層
- 23-1: 上越沖断層帯 (親不知沖区間)
- 23-2: 上越沖断層帯 (烏ヶ首沖区間)
- 23-3: 上越沖断層帯 (上越海盆南縁区間)
- 24: 名立沖断層
- 25: 上越海丘東縁断層

日本海側の海域活断層の長期評価  
 ー兵庫県北方沖～新潟県上越地方沖ー  
 (令和6年8月版)P6 図2-2より